

TTだより



2020. 12. 22 (火) No. 4

文責：指導法改善担当 永田

冬休みの間に学習（物・頭の中）の整理をしましょう！



2学期が間もなく終わり、冬休みに入ります。この機会に学習ノートやプリント、テストなどの整理（保管するものと捨てるもの）をしたり、理解があらゆるところをもう一度復習するなど、頭の中の整理をしたりすることが必要です。時間を上手に使うって計画的に学習してほしいです。

打上小学校学びのルール

- ★良い姿勢で学習します。
- ★といた鉛筆を使います。
- ★下じきをします。
- ★定規を使います。

✂ 筆箱の中も整理せいとん！



授業参観の感想をありがとうございました。

2学期の授業参観（11月）では、1・6年生の算数で、TTの授業を実施しました。たくさんの保護者の方に感想を寄せていただきましたので一部ご紹介します。

・初めてTTの授業を見ました。2人の先生がいろんな見方で子どもたちを支援して、分からない子がいないか、おくれていないか2人で見て頂いているので、みんな生き生きと学習しているようでした。いい取り組みだと思います。（1年）

・分からない時にすぐに聞くことができ、自信をもって発表できるので良い環境だなと思いました。今後もこの体制を続けてほしいです。（1年）

・全体指導と個別指導支援があり、子どもたちも分からない所は教えてもらい、全体の流れも止まらないという所がとて素晴らしいと感じました。（6年）

・個別に席を回られるので、理解度を確認し、助言等を行ってもらえるのではないかと思います。子どもたちが集中して取り組む姿勢が見られました。（6年）

『算数ことば』を使って、説明ができることを目指しています。

2学期には、それぞれの学年で『図形領域』の学習を進めました。

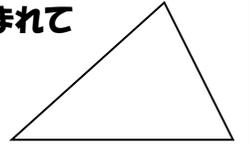
2年生は、「三角形と四角形」の学習で、一つひとつ図形の定義を学習しました。三角形の定義は右の通りです。「3本の直線」「かこまれている形」という算数ことばを使って説明します。同じように、四角形についても算数ことばで説明できます。

長方形については「かど」「みんな直角」ということばが大事で、これに、「辺の長さがみんな同じ」が加わると正方形の説明になります。そして、これらの学習は3年、4年、5年…の学習へとつながっていきます。

図形領域に限らず、新しい事柄が出てくるときに、必ずそれらを説明する「算数ことば」が出てきます。学習したことを正しく覚え、正しく使えるようになることが理解を深める上で大切です。学習した「算数ことば」を使って説明したり理由を述べたりできるように日々の学習で意識づけをしています。

冬休みの間に、教科書やノートをもう一度見返して、様々な算数ことばによる説明ができるかどうかを確かめることも、復習に大いに役立つことと思います。

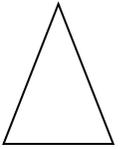
3本の直線でかこまれている形を三角形と
いいます。



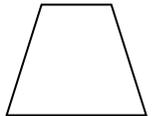
かどがみんな直角になっている
四角形を長方形と
いいます。



2つの辺の長さが等しい
三角形を二等辺三角形と
いいます。（3年）



向かい合った1組の辺が
平行な四角形を台形と
いいます。（4年）



返信コーナー お子さんの学習に関わること（冬休みの学習等についても大歓迎です）や

TTだよりの感想などをお寄せいただくと有難いです。

年 児童名